

18歳意識調査 「第80回 -犯罪・再犯・拘禁刑-」 報告書

日本財団 2026年5月29日

目次

	内容	ページ
	調査概要	3
	犯罪件数の変化	5
	犯罪の凶悪さや悪質さの変化	6
	犯罪を身近に感じる機会	7
	再犯者の割合についての印象	8
	半数程度が再犯者である状況の背景	10
	刑務所が果たすべき役割	12
	懲役・禁錮の廃止、拘禁刑の新設についての認知	16
	刑務作業を更生支援の手段と位置付ける拘禁刑の考え方への意見	17
	拘禁刑の考え方に賛成した理由	18
	拘禁刑の考え方に反対した理由	19
	拘禁刑の新設による再犯者率の変化	20
	凶悪犯罪を起こした方に対してとる行動	22
	暴力的犯罪を起こした方に対してとる行動	23
	窃盗や横領・詐欺などの犯罪を起こした方に対してとる行動	24

第80回18歳意識調査「犯罪・再犯・拘禁刑」 調査概要

調査対象

全国の17歳～19歳男女

回答数

1,000

※性年齢別の人口比率に合わせ、下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男	169	169	175	513
女	160	161	166	487
計	329	330	341	1,000

実施期間

2026年 5月 8日（金）～ 5月10日(日)

調査手法

インターネット調査

注記1：回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

注記2：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

提示文章①

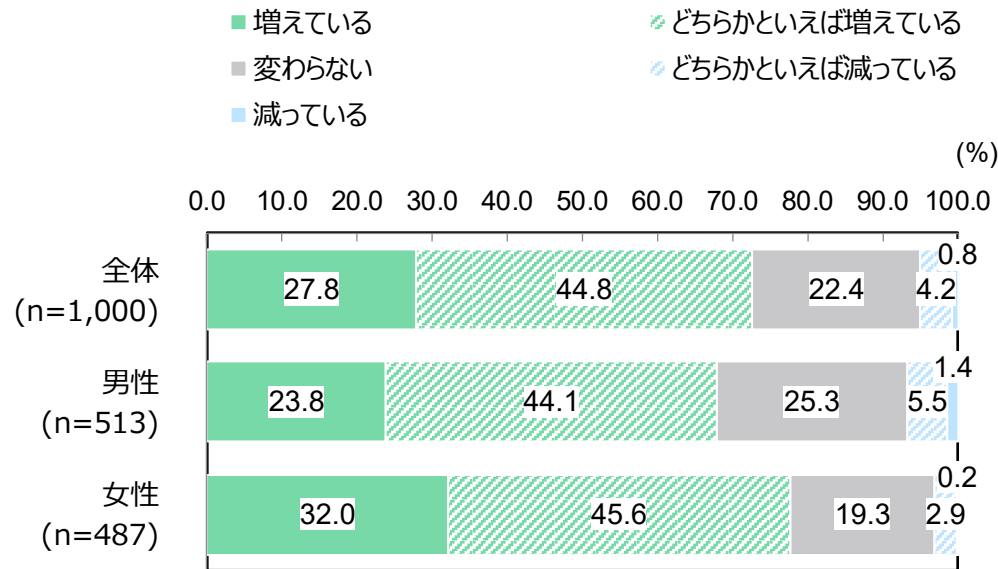
近年の日本の犯罪についてお聞きします。

犯罪件数の変化

「近年の犯罪件数の変化」について、全体の70%強が「増えている」（※1）と回答した。女性で「増えている」（※1）と回答した人の割合は、男性に比べて約10pt多かった。「減っている」（※2）との回答は全体の約5%であった。

※1「増えている」、「どちらかといえば増えている」の合計。 ※2「減っている」、「どちらかといえば減っている」の合計。

質問1：近年の日本における犯罪の件数は、どう変化していると感じますか。あなたの印象に最も近いものを選んでください。（単一回答）



犯罪の凶悪さや悪質さの変化

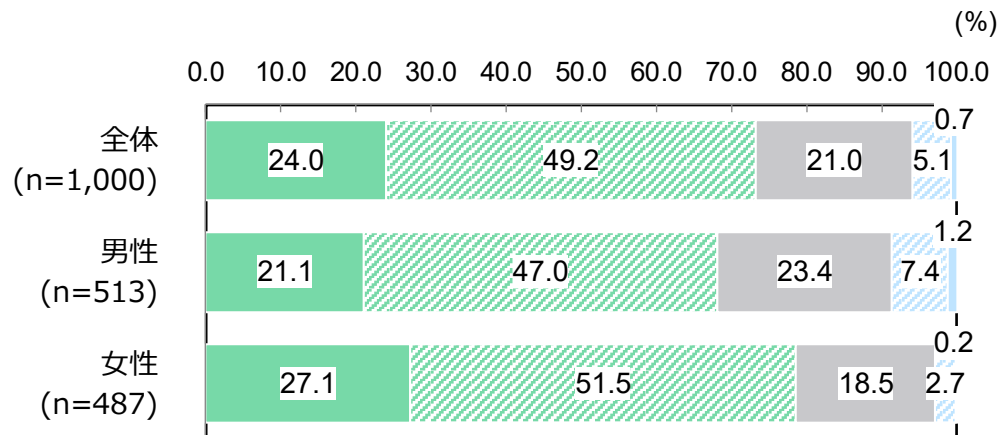
「近年の犯罪の凶悪さや悪質さの変化」について、全体の70%強が「凶悪化・悪質化している」（※1）と回答した。女性で「凶悪化・悪質化している」（※1）と回答した人の割合は、男性に比べて約10pt多かった。「凶悪化・悪質化していない」（※2）との回答は全体の約5%であった。

※1 「凶悪化・悪質化している」、「どちらかといえば凶悪化・悪質化している」の合計。

※2 「凶悪化・悪質化していない」、「どちらかといえば凶悪化・悪質化していない」の合計。

質問2：近年の日本における犯罪の凶悪さや悪質さは、どう変化していると感じますか。あなたの印象に最も近いものを選んでください。（単一回答）

- 凶悪化・悪質化している
- ▨ どちらかといえば凶悪化・悪質化している
- 変わらない
- ▨ どちらかといえば凶悪化・悪質化していない
- 凶悪化・悪質化していない

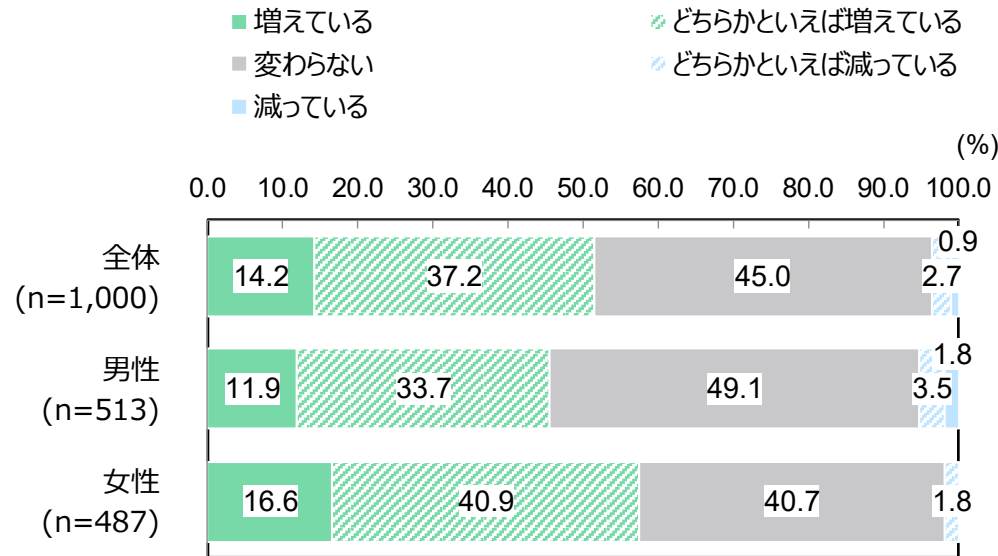


犯罪を身近に感じる機会

「近年犯罪を身近に感じる機会」について、全体の50%強が「増えている」（※1）と回答した。女性で「増えている」（※1）と回答した人の割合は、男性に比べて約12pt多かった。「減っている」（※2）との回答は全体の5%弱であった。

※1「増えている」、「どちらかといえば増えている」の合計。 ※2「減っている」、「どちらかといえば減っている」の合計。

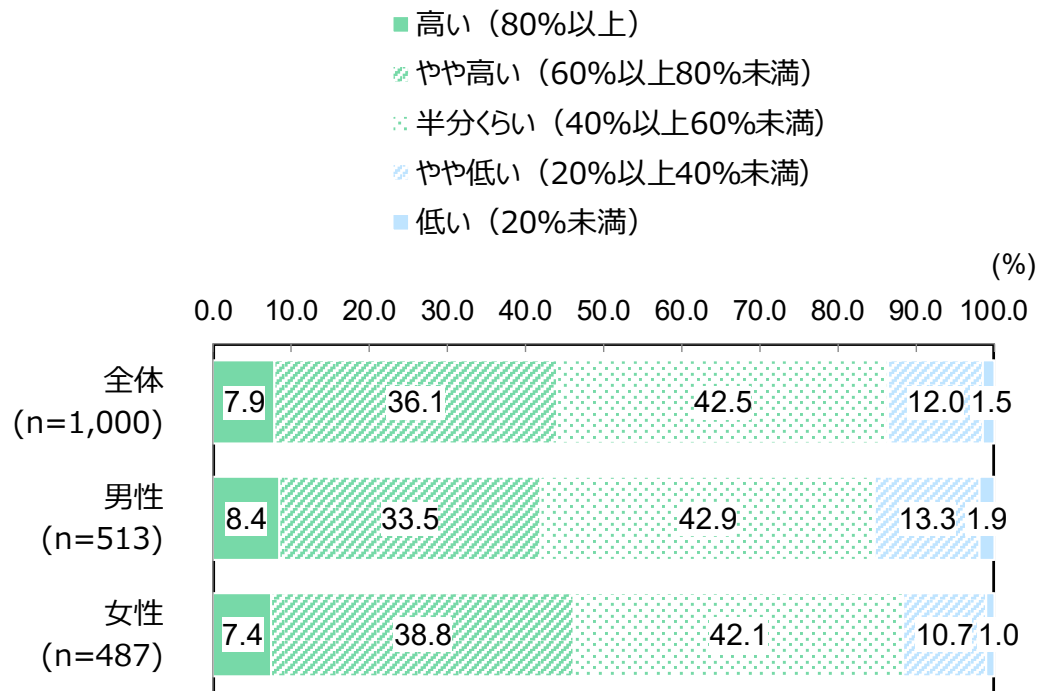
質問3：近年あなたが犯罪を身近に感じる機会は増えていると思いますか、減っていると思いますか。あなたの印象に最も近いものを選んでください。（単一回答）



再犯者の割合についての印象

「犯罪で検挙される人が再犯者である割合」について、全体の40%強が「半分くらい」と回答し、全体の40%弱が「やや高い」と回答した。

質問4：現在の日本において、犯罪で検挙される人が「再犯者（過去に罪を犯したことがある人）」である割合はどの程度だと思いますか。あなたの印象に最も近いものを選んでください。（単一回答）



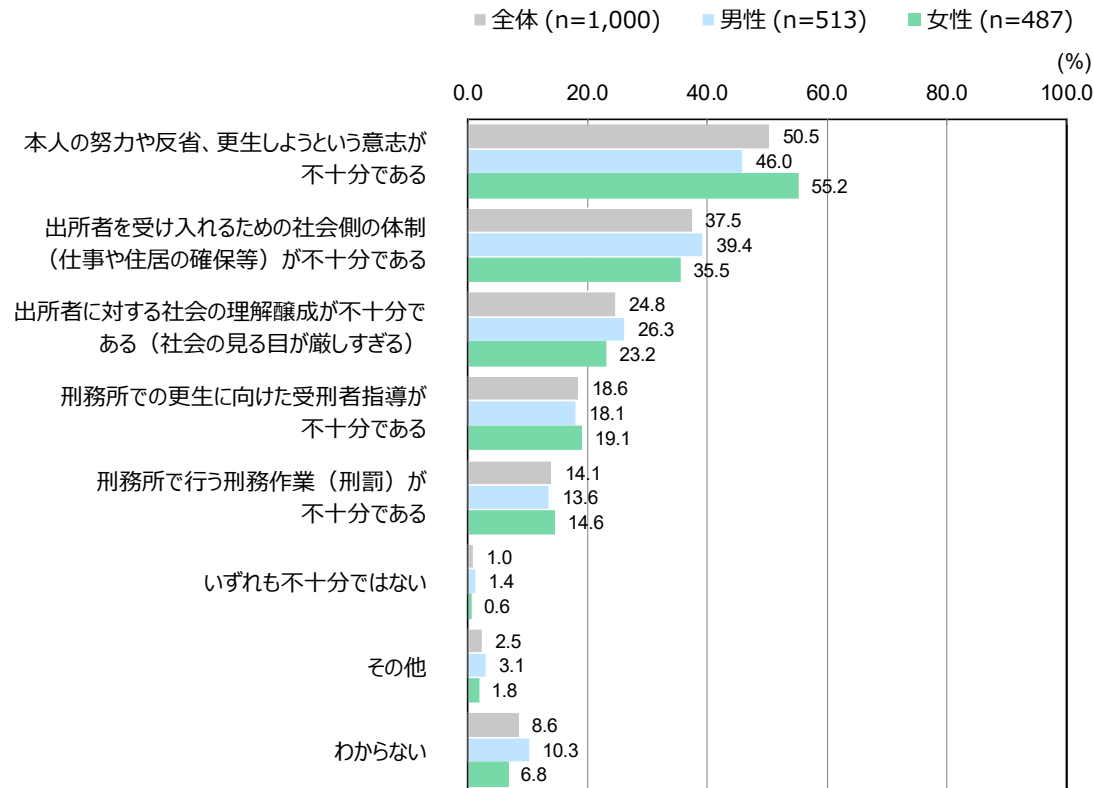
提示文章②

日本における「再犯者率」（検挙人員に占める再犯者人員の割合）は、2015年から2024年までの間、46～50%の間で推移しています。ピークは2020年で、再犯者率は49.1%でした。

半数程度が再犯者である状況の背景

「検挙される人のうち半数程度が再犯者であるという状況の背景」として、「本人の努力や反省、更生しようという意志が不十分である」が最も多く、全体の約50%が選択した。「出所者を受け入れるための社会側の体制（仕事や住居の確保等）が不十分である」が次に多く、全体の40%弱が選択した。

質問5：「検挙される人のうち半数程度が再犯者である」という状況を生み出している背景について、あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。（複数回答、2つまで回答可）



※「いずれも不十分ではない」「その他」「わからない」を除き、全体の降順で掲載。

半数程度が再犯者である状況の背景

(続き)

質問5：「検挙される人のうち半数程度が再犯者である」という状況を生み出している背景について、あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。(複数回答、2つまで回答可)

「その他」の自由記述

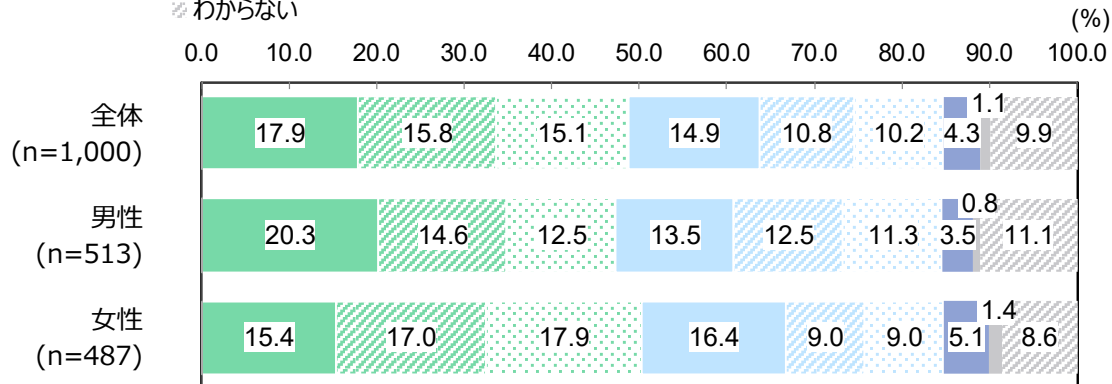
- 性犯罪、移民
- 刑務所内の方が環境が良いから
- 刑が軽い
- 刑務所内での待遇が刑務所の外より良い為に刑務所に行きたいと思ってしまう。
- 刑務所は何もせずとも衣食住が提供されるからである
- 刑務所が受刑者にとって快適すぎる
- 刑務所が生活しやすいようになってるから、再犯して戻る人が多いと思う
- 罪に対する判決が軽すぎる
- 移民
- 一度やってしまった人はもうそういう一種の病のようなもので更生できるできないの問題ではなく再犯してしまうものなのだと思う。どちらかといえば刑罰よりもカウンセリングや心のケアをするべき。
- 一度したらやめられない
- 簡単には改善できない受刑者の性質
- 人は簡単に更生できないため
- 刑務所の方が豊かな生活ができる場合がある
- 法の抜け穴
- 女性刑務所と男性刑務所の規則が大幅に異なっており、女性の再犯は高まってもおかしくない
- 現在の日本社会が不景気で厳しいため特に老人などは社会復帰が厳しい
- 政府が制度を早急に定めず、犯罪をせざるを得ない社会(物価高対策の不十分など)にしている
- 刑務所の方が快適である
- 刑務所の生活環境が整っているから
- 闇バイトなどで検挙される初犯の人が増えたので、その分母数が増え、検挙される中での再犯者の割合が減った

刑務所が果たすべき役割

「受刑者を更生させるために刑務所が果たすべき役割」として、男性では「就労支援を行い、出所後の働き口を確保する」との回答が最も多く、女性では「被害者やその遺族の心情を理解する教育を行い、謝罪や更なる反省を促す」との回答が最も多かった。2番目に多かった回答は、男女ともに「薬物依存離脱指導や暴力防止指導などの指導を行い、再犯の可能性を未然に抑える」であった。

質問6：受刑者を更生させるために、刑務所が果たすべき役割として最も重要だと思うものを選んでください。（単一回答）

- 就労支援を行い、出所後の働き口を確保する
- ▨ 薬物依存離脱指導や暴力防止指導などの指導を行い、再犯の可能性を未然に抑える
- ▩ 被害者やその遺族の心情を理解する教育を行い、謝罪や更なる反省を促す
- 刑罰として刑務作業を厳格に行い、十分な反省を促す
- ▨ 基礎的な勤労能力・作業能力を身につけさせ、出所後の労働や生活に支障のないようにする
- ▩ 受刑者に社会貢献活動への参加機会を与える
- 高齢受刑者や障害をもつ受刑者に福祉的ケアを行い、社会復帰を支援する
- その他
- ▨ わからない



※「その他」「わからない」を除き、全体の降順で掲載。

刑務所が果たすべき役割

(続き)

質問6：受刑者を更生させるために、刑務所が果たすべき役割として最も重要だと思うものを選んでください。(単一回答)

「その他」の自由記述

- 更生は不可能だから、刑務所から出さない
- 二度と刑務所に入りたくないと思わせるほどの厳格な刑罰を課す
- 被害者や被害者家族と同じ思いをさせて、再犯防止をする
- 性犯罪者などは無期懲役でいいと思う
- 厳しく取り締まる
- 就労支援、住宅の確保、基本的な生活を行える環境を整備し、出所後も定期的にかウンセリングを実施したり、再犯の兆候がないか確認したりして、受刑者が確実に社会復帰する体制を確保する。
- 社会の常識を教え、その人のズレている部分を正す

提示文章③

2025年6月には、従来の「懲役」*と「禁錮」**を一本化し、新たに「拘禁刑」が設けられました。明治40年（1907年）に現行刑法が制定されて以来初の刑罰の変更で、新制度では、いままで受刑者のほとんどが一律で一定時間を割くことを義務づけられていた刑務作業***について、一定時間を割く義務がなくなり、個々の受刑者の特性を考慮したうえでそれぞれに適切な「作業」や「指導」を検討・計画すること、とされています。

*「懲役」

「刑務所に収容し、義務として刑務作業を行わせる刑罰」のこと

**「禁錮」

「刑務所に収容するが、本人の申し出がない限り刑務作業をする義務はない刑罰」のこと

***「刑務作業」

具体的には、民間企業から受注し木工や金属での物品製作を主とする「生産作業」、刑務所内の炊事や清掃を行う「自営作業」、地域の清掃や雪かきを行う「社会貢献作業」、職業に関する免許や資格を取得するための「職業訓練」のこと

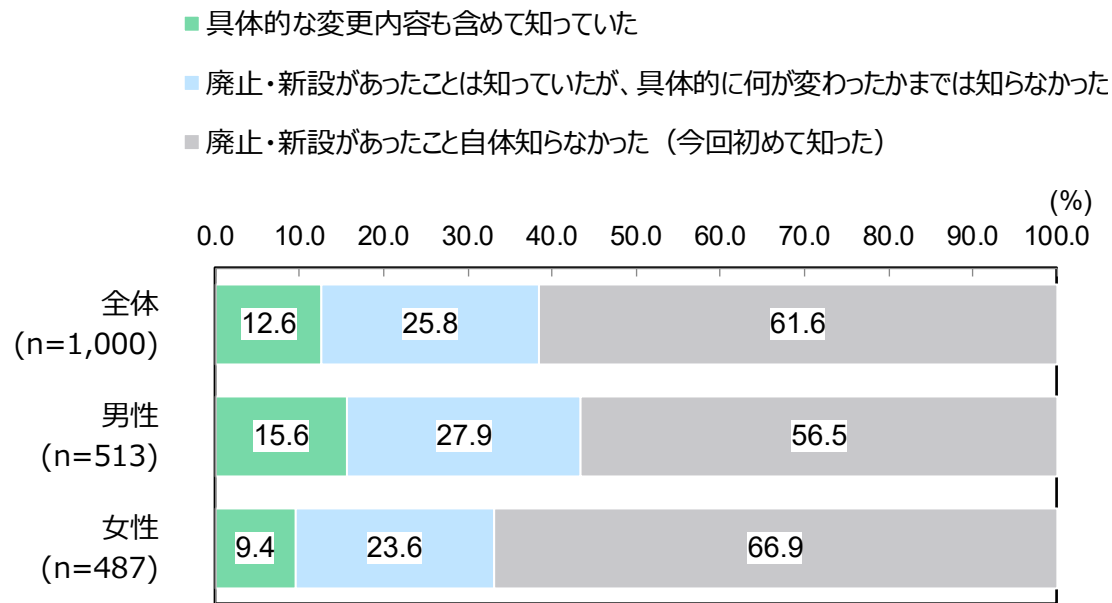
提示文章③

これにより一部受刑者には、基礎学力向上のための指導やメンタルケアのためのカウンセリングなどを、より柔軟に行うことができるようになりました。また、刑務作業の位置づけも、「刑罰の目的」から「改善更生・社会復帰支援のための手段」へと変更されました。

懲役・禁錮の廃止、拘禁刑の新設 についての認知

「懲役・禁錮の廃止、拘禁刑の新設」について、全体の60%強が「廃止・新設があったこと自体知らなかった」と回答した。「廃止・新設があったことは知っていたが、具体的に何が変わったかまでは知らなかった」と回答したのは全体の30%弱、「具体的な変更内容も含めて知っていた」は全体の10%強にとどまった。

質問7：「懲役」「禁錮」の廃止、および「拘禁刑」の新設について知っていましたか。（単一回答）



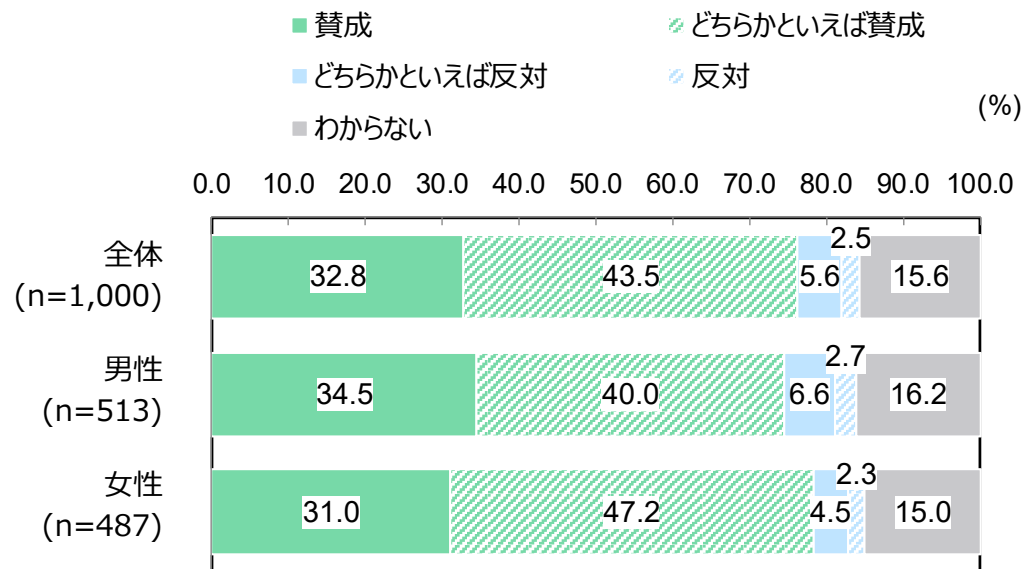
刑務作業を更生支援の手段と位置付ける 拘禁刑の考え方への意見

「『拘禁刑』での刑務作業の考え方」について、「賛成」（※1）と回答したのは全体の80%弱であり、「反対」（※2）と回答したのは全体の10%弱であった。

※1「賛成」、「どちらかといえば賛成」の合計。

※2「反対」、「どちらかといえば反対」の合計。

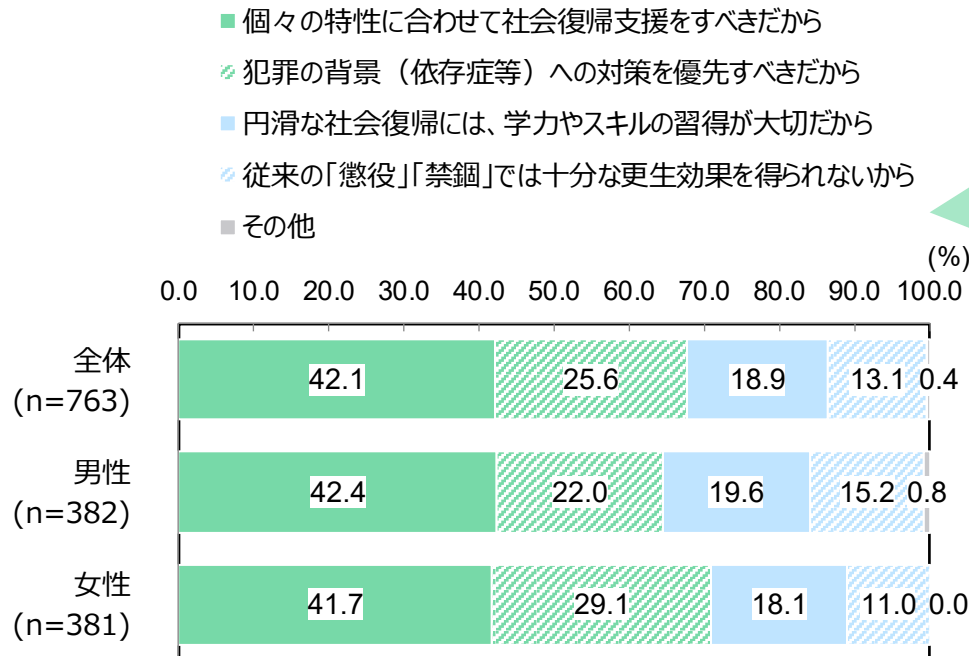
質問8：「拘禁刑」では、刑務作業を「改善更生・社会復帰を支援するための手段」とし、受刑者一人ひとりに合わせた作業や指導が行われます。この考え方について、どう思いますか。（単一回答）



拘禁刑の考え方に賛成した理由

「『拘禁刑』での刑務作業の考え方に賛成した理由」として、「個々の特性に合わせて社会復帰支援をすべきだから」が最も多く、40%強が選択した。「犯罪の背景（依存症等）への対策を優先すべきだから」が次に多く、30%弱が選択した。

質問9：前問で「賛成」あるいは「どちらかといえば賛成」を選択した理由として、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（単一回答、質問8で「賛成」「どちらかといえば賛成」を選択した人のみに表示）



「その他」の自由記述

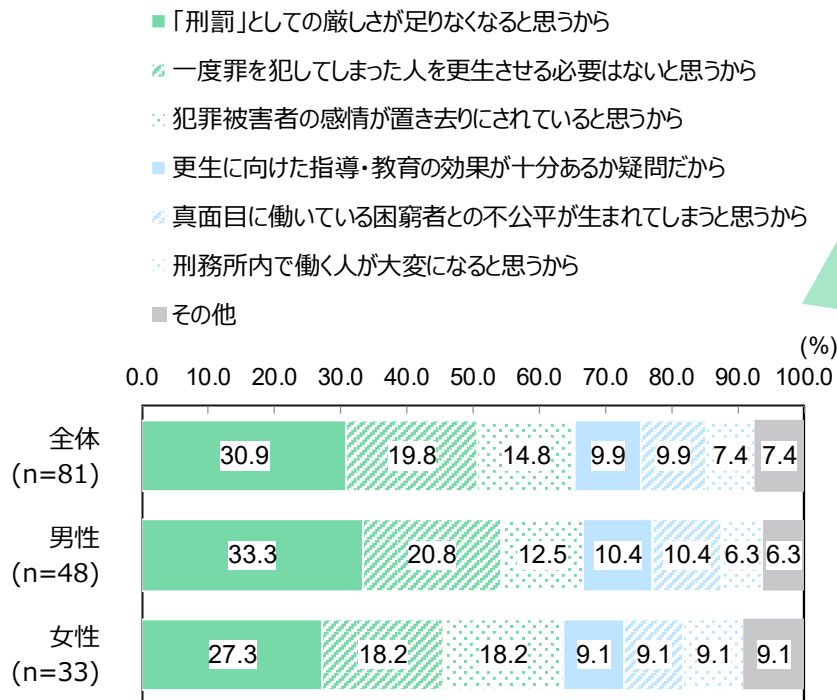
- 禁固と懲役の違いが形骸化していたから
- 犯罪者の中にも、救済の余地がある者はいるから
- 出所して何か職につけば、社会全体の生産効率が少しでも上がるから。

※「その他」を除き、全体の降順で掲載。

拘禁刑の考え方に反対した理由

「『拘禁刑』での刑務作業の考え方に反対した理由」として、「『刑罰』としての厳しさが足りなくなると思うから」が最も多く、約30%が選択した。「一度罪を犯してしまった人を更生させる必要はないと思うから」が次に多く、約20%が選択した。

質問10：前問で「反対」あるいは「どちらかといえば反対」を選択した理由として、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（単一回答、質問8で「反対」「どちらかといえば反対」を選択した人のみに表示）



「その他」の自由記述

- 犯罪を犯したのにも関わらず、「その人に合わせる」というなぜ犯罪者に気を使わないといけないのか
- 決められたラインに沿って生きて来なかった人間が罪を犯すのに、そいつらに逃げ道など使っていないはずがないから
- 出所時の作業による報奨金が減り、出所後の生活を支えるお金が減ってしまう可能性があるから。
- 凶悪な再犯者が増えている現状を考えると意味のないことのように思ってしまうから
- 使われる税金が増えていそうで納得できない
- 手間暇かけるの大変そうだから

※「その他」を除き、全体の降順で掲載。

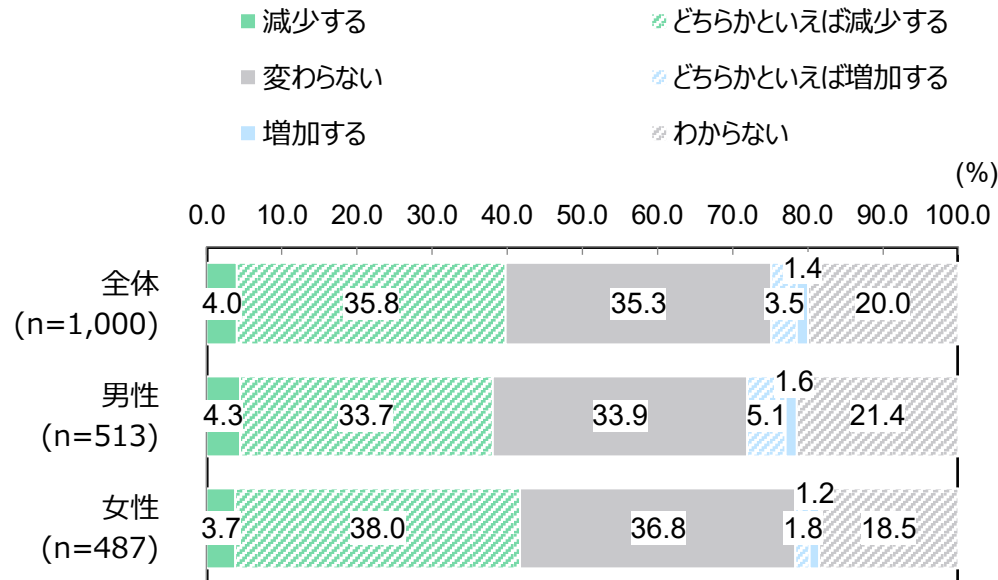
拘禁刑の新設による再犯者率の変化

「『拘禁刑』の新設による再犯者率の変化」について、「減少する」（※1）と思うと回答したのは全体の約40%であり、「増加する」（※2）と思うと回答したのは全体の約5%であった。

※1「減少する」、「どちらかといえば減少する」の合計。

※2「増加する」、「どちらかといえば増加する」の合計。

質問11：「拘禁刑」の新設により、日本の再犯者率はどう変化したいと思いますか。あなたの印象に最も近いものを選んでください。（単一回答）



提示文章④

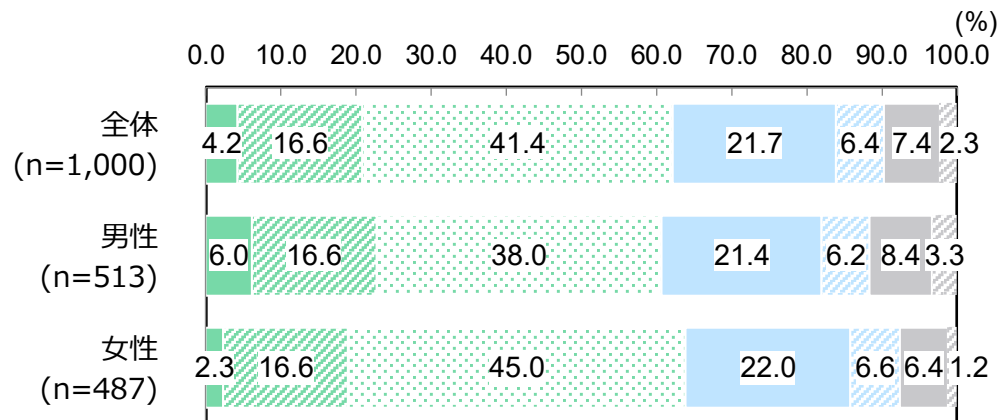
ここからは、あなたが通う学校や職場に過去に犯罪を起こした方が新しく入ってきた場合、あなたがどのような行動をとるか、についてお聞きします。

凶悪犯罪を起こした方に対してとる行動

「過去に殺人や強盗など凶悪犯罪を起こした方に対してとる行動」として、「一定の距離を置きつつも、表面上は普通に接する」が最も多く、全体の40%強が選択した。「必要最小限の関わりにとどめ、なるべく距離を置く」が次に多く、全体の20%強が選択した。

質問12：あなたが通う学校や職場に、次のような方が新しく入ってきた場合を想像してください。あなたはどのような行動をとると思いますか。最も近いものを選んでください。【過去に殺人や強盗など凶悪犯罪を起こした方】（単一回答）

- 積極的に交流し、関係を築こうとする
- ▨ 他のクラスメイト・同僚と区別することなく、同じように接する
- ▩ 一定の距離を置きつつも、表面上は普通に接する
- 必要最小限の関わりにとどめ、なるべく距離を置く
- ▨ 同じ空間にいることを避け、一切、関わらないようにする
- わからない
- ▨ 答えたくない

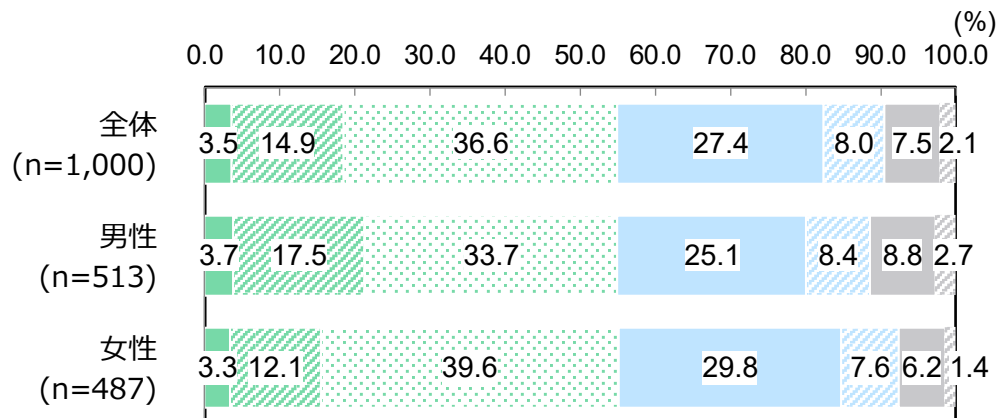


暴力的犯罪を起こした方に対してとる行動

「過去に暴行や恐喝など暴力的犯罪を起こした方に対してとる行動」として、「一定の距離を置きつつも、表面上は普通に接する」が最も多く、全体の40%弱が選択した。「必要最小限の関わりにとどめ、なるべく距離を置く」が次に多く、全体の30%弱が選択した。

質問13：あなたが通う学校や職場に、次のような方が新しく入ってきた場合を想像してください。あなたはどのような行動をとると思いますか。最も近いものを選んでください。【過去に暴行や恐喝など暴力的犯罪を起こした方】（単一回答）

- 積極的に交流し、関係を築こうとする
- ▨ 他のクラスメイト・同僚と区別することなく、同じように接する
- ▨ 一定の距離を置きつつも、表面上は普通に接する
- 必要最小限の関わりにとどめ、なるべく距離を置く
- ▨ 同じ空間にいることを避け、一切、関わらないようにする
- わからない
- ▨ 答えたくない



窃盗や横領・詐欺などの犯罪を起こした方に対してとる行動

「過去に窃盗や横領・詐欺などの犯罪を起こした方に対してとる行動」として、「一定の距離を置きつつも、表面上は普通に接する」が最も多く、全体の40%弱が選択した。「他のクラスメイト・同僚と区別することなく、同じように接する」が次に多く、全体の20%強が選択した。

質問14：あなたが通う学校や職場に、次のような方が新しく入ってきた場合を想像してください。あなたはどのような行動をとると思いますか。最も近いものを選んでください。【過去に窃盗や横領・詐欺など比較的軽い犯罪を起こした方】（単一回答）

- 積極的に交流し、関係を築こうとする
- ▨ 他のクラスメイト・同僚と区別することなく、同じように接する
- ▩ 一定の距離を置きつつも、表面上は普通に接する
- 必要最小限の関わりにとどめ、なるべく距離を置く
- ▨ 同じ空間にいることを避け、一切、関わらないようにする
- わからない
- ▨ 答えたくない

